

上位表示記事作成テンプレート

■著作権について

当電子書籍は著作権法で保護されている著作物です。

使用に関しましては以下の点にご注意ください。

- ・本電子書籍の著作権は、作者にあります。

作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、
または全部をインターネット上に公開すること、
およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

- ・本電子書籍の一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段
(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)
により複製、流用および転載することを禁じます。

■使用許諾契約書 本契約は、

本電子書籍をダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と
作者(以下、乙とする) との間で合意した契約です。

本電子書籍を甲が受けとることにより、甲はこの契約は成立します。

第1条(目的)

本契約は、本電子書籍に含まれる情報を、
本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止)

本電子書籍に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。

また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、
甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずに、
いかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(損害賠償)甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、
本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、
違反件数に金壱万円を乗じた金額を支払うものとします。

このレジユメの書かれている URL はクリック出来ます。

出来ないときは、最新の AdobeReader を無料ダウンロードして下さい。

<https://get.adobe.com/jp/reader/> 著作者 YUU

目次

上位表示記事作成テンプレート.....	1
【はじめに】.....	4
【記事を書く前にやるべきこと】.....	1
【上位表示され易い記事構成テンプレート】.....	3
【記事タイトル】.....	4
【本文(冒頭)】.....	6
【見出し2とその本文】.....	7
【見出し3とその本文】.....	8
【見出し3とその本文】.....	9
【記事を書く際の注意点】.....	10
【最後に】.....	13

【はじめに】

この度は、上位表示記事作成テンプレートをダウンロードして頂き、ありがとうございました。

当教材は、いわゆるブログで稼ぐ為に必要な、「アクセス」を、効率よく集める為のノウハウです。

残念ながら多くの人は、「ブログビジネス」を甘く見えています。

一般的なブログのイメージって、「日記ブログ」ですよね？

その為、

「ブログって記事を書きまくれば、自然とアクセスが集まって稼げるんでしょ？」

と、「誤って認識している方」が非常に多いのです。

しかし、実際そう簡単にはいかないですし、「正しい書き方」を学ばなければ、アクセスは集まりません。

ブログには、上位表示され易い
(ユーザーに読まれ易い)構成がある為、
「正しいブログ記事の書き方」を身に付けることで、
検索エンジンの評価を得て上位表示されるのです。

間違っても、日記ブログの様な書き方では読まれず、まず上位表示はされないのです。是非このテンプレートで、「正しいブログの書き方」を身に付けて下さい。

【記事を書く前にやるべきこと】

「狙うキーワード」を決めたら、
早速記事を書きたいですよね？

しかしこの際、検索で上位表示を狙う為に、
必ずやらなければいけないことがあります。

それが、「一度そのキーワードで検索すること」(リサーチ)です。

当たり前と思うかもしれませんが、
意外とこれが出来ない人が多いのです。

特に、自分が知っている
得意ジャンルのキーワードで記事を書く時ほど、

「このジャンルは知ってるからリサーチは不要!」

と、「舐めて掛かる傾向」があります。

しかし、これは上位表示を狙う立場として、
絶対にやってはいけない「NG 行動」です。

その理由は、一度検索することで、
「以下の要素」を把握出来るからです。

- ★そのキーワードの検索者が求める情報
- ★検索エンジンが評価している記事の傾向
- ★上位表示に求められる記事のクオリティ

知っているジャンルのキーワードなら、
「検索者の意図」は分かるかもしれませんが、
「検索エンジンが評価する情報の傾向」は、
検索してみないと分かる筈が無いですよね？

そもそもが、検索エンジンというプラットフォームを
利用させて貰ってアクセスを集める立場です。

「その特性などを理解した上」で発信しなければ、
どれだけそのジャンルに詳しくても、上位表示は出来ません。

また、各キーワード毎に、「上位表示に求められる記事のクオリティ」は変わります。

これは「文字数」だったり、「記事構成」だったり、
「どこまで掘り下げて解説しているのか？」等、
現在、検索で上位表示されているライバル記事を
上回るものを書かなければ、上位表示は難しいです。

それなのに、「自分は知っているから」と、
リサーチもせずに自分の勘だけで記事を書いては、
敵を知らずに敵地に特攻するのと同じなので、ほぼ撃沈します。

その為、狙うキーワードを決めたら一度「検索」し、

- ★そのキーワードの検索者が求める情報
- ★検索エンジンが評価している記事の傾向
- ★上位表示されているライバル記事のクオリティ

これらを「把握」してから、毎回記事を書いて下さい。

このリサーチを行うのに行わないのとは、
後々集まるアクセスに「雲泥の差」が出るので、
上位表示を狙いたい場合は、必ず実践して下さい。

【上位表示され易い記事構成テンプレート】

僕の思う、「上位表示され易い記事の構成」は、以下の通りです。

※「ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを解説」、というキーワードで書く際の例。

【記事タイトル】

「ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを解説」

【本文(冒頭)】

検索者が抱える悩みを書きつつ、
共感を伝え、記事を読むことで
得られるメリットを記載する

【見出し2】

「ダイエットで効果的に痩せる3つのコツとは？」

【本文】

ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを
「箇条書き」で1つずつ分かり易く書き、
それを解説する旨を伝える

【見出し3】

「1つ目のコツのタイトル」

【本文】

ダイエットで効果的に痩せる1つ目のコツを
根拠を交えて解説し、しっかり結論を示す

【見出し3】

「2つ目のコツのタイトル」

【本文】

ダイエットで効果的に痩せる2つ目のコツを、
根拠を交えて解説し、しっかり結論を示す

【見出し3】

「3つ目のコツのタイトル」

【本文】

ダイエットで効果的に痩せる3つ目のコツを、
根拠を交えて解説し、しっかり結論を示す

【見出し2】

まとめ

【本文】

最後のまとめを伝える

【記事タイトル】

まずは、「記事タイトルの付け方」から解説します。

上記では、「**ダイエット 痩せる コツ**」というキーワードを狙う際のタイトルを例に挙げました。

それが、「**ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを解説**」というもの。

どれだけ良い内容の記事を書いたとしても、検索結果の中から選ばれて「クリック」されなければ、無意味です。

よって、「**クリックされ易い、魅力的な記事タイトル**」が重要になります。

そこで効果的なのが、「**数字**」や「**目立つフレーズ**」を入れること。

まず、人間は「**数字**」に反応する生き物です。

例えば、「以下の2つ」があった場合、どちらの記事を読みたいですか？

「**短期間で痩せられるダイエット法**」
「**1週間で痩せられるダイエット法**」

どう考えても、「**後者**」の記事ですよね？

この様に、数字を盛り込むことで、超簡単に興味を引くことが出来るのです。

ただし、検索結果の上位に、
すでに「〇〇の3つの方法」、
「4つのコツ」など、似た様な構成の記事が
複数存在する場合、効果は薄れます。

その際は、「逆張り」や「違う視点」で
タイトルを付けることで、目立つ上に興味を引けます。

例えば、

「糖質制限で痩せる3つの秘訣」

というタイトルの記事が1位だったとして、
2位や3位でも似た様な記事が
すでに上位表示されている場合、
「以下の様な書き方」で差別化します。

(例)【糖質制限で痩せるのは無理です!←その理由を教えましょう】

タイトルはこれにして、実際は、
「巷で言われている糖質制限では痩せられない」
という内容の記事にすれば良いのです。

結果、「オリジナル性」が高まり、
良質な記事であれば上位表示されるでしょう。

また、「解説、徹底解説、暴露、秘密、秘訣、衝撃」なども、
非常にユーザーの興味を引きやすいフレーズなので、
これらをタイトルに盛り込むことで、クリック率が高まります。

【本文(冒頭)】

記事タイトル下の冒頭文では、

「そのキーワードで検索するユーザーの悩み」
「自分も同じ悩みを抱えた経験がある」
「この記事を読んで得られるメリット」

これらを書いて下さい。

仮に、狙うキーワードを使った記事タイトルが、

「ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを解説!」

というものであれば、

「**ダイエットで痩せられなくて困っているユーザーの悩み**」

をイメージして、それをあえて書きましょう。

(こんな悩みを抱えていませんか?等)

次に、「**自分にも同じ悩みがあった経験**」を書き、共感を得ます。

(中々痩せられなくて、何度も挫折しました等)

そして、「**その記事を読んで得られるメリット**」を書きましょう。

(効果的に痩せられる3つのコツを解説します等)

ここがふわっとしていたり、
検索者の悩みとズレていれば、
即「戻るボタン」で離脱される為、
注意して下さい。

【見出し2とその本文】

ここでは、記事タイトルである、「ダイエットで効果的に痩せる3つのコツを解説」の、「3つのコツ」を、「箇条書き」で書きましょう。

例としては、「以下の構成」がおすすめてです。

(例)

ダイエットで効果的に痩せるコツは、「以下の3つ」です。

- ★○○○○(1つ目のコツ)
- ★○○○○(2つ目のコツ)
- ★○○○○(3つ目のコツ)

では、1つずつ解説しますね。

ここは、あくまで「誘導分」なので、長ったらしく解説する必要はありません。

【見出し3とその本文】

ここでは、「**ダイエットで効果的に痩せる3つのコツ**」を、
1つずつ取り上げて解説して行きます。

ここで重要なのは、

「何故、そのコツで効果的に痩せられるのか？」

を、**1つ1つの項**で必ず「**根拠**」を交えて「**結論**」を示すこと。

根拠と結論が無く、
曖昧な解説でダラダラ記事を書いていると、
ユーザーは即「離脱」し、他のブログに移動してしまいます。

なので、ここから続く【見出し3】（コツの2つ目、3つ目）では、
「**全ての項で必ずここを意識**」して記事を書いて下さい。

【見出し3とその本文】

「最後のまとめ」を書いて下さい。

ただし、

「他の項で書いた文章と同じ構成にならない表現」

にして書きましょう。

他の項と同じ構成でそのまま書くと、
「これ、さっきと同じじゃん」と飽きられて、
離脱されてしまうので、構成を変えてまとめて下さい。

【記事を書く際の注意点】

上位表示され、ユーザーに
長く読まれる記事を書く際は、
「以下の要素」を意識しましょう。

- ★「使うキーワード」を見出しや本文中に出来るだけ多く自然に含める
- ★文章が長くなる場合は、画像や枠線を加えて読み易くする

検索に引っ掛かる要素は、記事タイトルだけではなく、「見出し」や「本文」のキーワードも、その対象です。

その為、ここにキーワードを含めることで、より上位表示の可能性が高まります。

意外と、タイトルだけを意識して、見出しや本文のキーワードがおろそかになっている人は多いです。

この対策をやるかやらないかで、のちのちに「差」が生まれるのです。

ただし、意識する余り、無理に入れて文章が不自然になると逆効果なので、あくまで「自然」な文章を意識して、キーワードを入れて下さい。

「ダイエット 痩せる コツ」というキーワードであれば、以下の様な含め方がおすすめです。

【記事タイトル】

「**ダイエット**で効果的に**痩せる** 3 つの**コツ**を解説」

【本文(冒頭)】

ダイエットで**痩せる**のって難しいですね。

しかし、正しい**コツ**を知れば、
スムーズに**痩せる**ことが可能です。

当記事では、
「**ダイエット**で効果的に**痩せる** 3 つの**コツ**」
について、詳しく具体的に解説します。

【見出し2】

ダイエットで効果的に**痩せる** 3 つの**コツ**とは？

【本文】

ダイエットで効果的に**痩せる****コツ**は、「以下の3つ」です。

★○○○○(1つ目の**コツ**)

★○○○○(2つ目の**コツ**)

★○○○○(3つ目の**コツ**)

では、1つずつ解説します。

【見出し3】(①②③)

○○○(効果的に**痩せる****コツ**の①②③)

【本文】(①②③)

この**コツ**を実践することで、
ダイエットで効果的に**痩せる**ことが出来るのです。

【見出し2】

まとめ

【本文】

ここまで、
「**ダイエット**で効果的に**痩せる** 3 つの**コツ**」
について、お話ししました。

この様になります。

今回の「ダイエット 痩せる コツ」は、
かなり使い易いキーワードなので、
自然に多く盛り込むことが可能です。

しかし、使うキーワードによっては、「使いづらいもの」もあります。

よって、無理に含めようとする文章が不自然になり、
「検索エンジンに嫌われて圏外に飛ばされるリスク」があるので、
その場合は無理はしないで下さい。

あくまで、「自然に盛り込むこと」がコツです。

因みに、最後の「まとめ」の見出しタイトルにも、
使用キーワードを入れる方法もあるのですが、
これは「自己責任」でお願いします。

割と簡単なキーワードであれば効果的ですが、
長ったらしく入れるのは、経験上、あまりおすすめしません。

また、文章が長くなる場合は、
「画像」や「枠線」を適度に使用し、
見やすい構成を心がけて下さい。

文字が延々と続くブログ記事は読み疲れる為、
離脱されてしまう可能性が高くなってしまいます。

【最後に】

ここまで、

[「上位表示記事作成テンプレート」](#)

をご覧頂き、ありがとうございました。

当レポートのノウハウは、**全て僕が実践し、実際に複数の記事が上位表示されている、効果が実証済みのノウハウ**です。

あなたがこのレポートを読んでいるということは、高確率で検索エンジンで上位表示されている、**「何かしらの僕の記事経由」**でブログを訪れて、ダウンロードして頂いている筈ですからね。

自分で言うのも何ですが、このレポートは、その辺の有料ブログ教材にも負けません。

ものによっては、「それを超えるノウハウ」である自負があります。

是非このテンプレートを活用し、**「上位表示」**を実現して下さい。